

平成25年10月16日（水）

国土交通省関東地方整備局 千葉国道事務所
東日本高速道路株式会社 関東支社

記者発表資料



とうがね きさらづひがし 圏央道の東金JCTから木更津東IC間

開通3ヶ月後の整備効果についてお知らせします。

圏央道の千葉県区間のうち、東金JCTから木更津東ICまでの延長42.9kmが、平成25年4月27日（土）に開通しました。

このたび、開通3ヶ月後の整備効果を取りまとめましたのでお知らせします。
なお、今後も交通状況など適宜お知らせします。

<<目的地により早く、より便利に>>

- ・圏央道を利用する高速バスが20便増加。
- ・バスルート変更に伴い所要時間が短縮。バス利用客も2割増加。

<<近くなった観光地！観光客も約16%増>>

- ・観光地へのアクセスが向上し、観光客が約16%増加したエリアも。

<<新鮮な農水産物をより早く輸送することが可能に>>

- ・市場への所要時間が短縮し、房総地域の新鮮な農水産物をより早く輸送することが可能に。

<<搬送時間が短縮し、患者さんへの負担も軽減>>

- ・搬送時間が短縮し、専門性の高い病院への搬送が増加。
- ・道路線形も良くなったため、患者さんへの負担も軽減。

圏央道全体としての開通効果のお知らせはこちらをご覧ください。

http://www.ktr.mlit.go.jp/kisha/road_00000038.html

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、千葉県政記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ
千葉市政記者会、東金記者クラブ、茂原記者クラブ、市原記者クラブ、木更津記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 電話 043-287-0311（代表）

副所長 かわさき 川崎 浩之 計画課長 みさわ しんご 三澤 伸吾

東日本高速道路 株式会社 関東支社 広報課 電話 03-5828-8347

充実する千葉県の交通ネットワーク

圏央道の開通により千葉県と都心などを結ぶ交通ネットワークが充実。

- ・新設IC周辺にパークアンドバスライド 駐車場（市原鶴舞バスターミナル・長南駐車場）が整備され運用開始。圏央道を利用して千葉県と都心などを結ぶ高速バスが20便増加。
- ・バスルートに圏央道利用に変更し、所要時間が短縮。利用客からも好評で、利用客も2割程度増加。

■開通後の高速バス路線



注：図中の高速バス路線は、各バス事業者からの聞き取り結果。

単位：便/日

高速バス路線の便数		開通前	開通後	増減
新設	① 成田～木更津間	—	5	+5
	② 茂原～東京間	—	13	+13
変更ルート	③ 茂原～羽田・横浜間	12	14	+2
	④ 勝浦～東京間	12	12	—

20便増加

単位：分

高速バス路線の所要時間		開通前	開通後	増減
新設	① 成田～木更津間	—	120	—
	② 茂原～東京間	—	85	—
変更ルート	※③ 茂原～羽田・横浜間	90	70	▲20
	④ 勝浦～東京間	125	110	▲15

※③：茂原～羽田・横浜間は、開通後に全便が横浜駅乗り入れ
出典：各高速バス時刻表（平成25年7月）

バス事業者の声



千葉県内と羽田空港・横浜方面を結ぶ路線は、圏央道を利用したルートに変更したことで所要時間が短くなり、お客様から「早くなった」とご好評をいただいております。
ご利用客も2割程度増加しています。

出典：バス事業者へのヒアリング調査（平成25年7月実施）

バス事業者の声



今後、松尾横芝IC—大栄JCTが開通することで、今回の開通にあわせて新設した高速バス（木更津～成田空港）の所要時間がより短縮され、利便性向上につながるため、早期開通を望みます。

出典：バス事業者へのヒアリング調査（平成25年10月実施）

観光地へのアクセス性の向上

圏央道の開通により、房総地域の各観光地へのアクセス性が大幅に向上し、観光客やイベントの集客も増加しました。

- ・圏央道の開通によって、ICから観光地へのアクセス性が向上し、観光客も増加しました。
(千葉県内の主な観光地では夏期観光シーズン期間中で昨年度より最大で15.5%増加(九十九里地域))※。

※千葉県報道発表資料「平成25年度夏期観光シーズンにおける観光入込状況について」より

■千葉県内の代表的な観光・レクリエーション施設



写真：茂原七夕まつりの様子
出典：茂原七夕まつり実行委員会

茂原七夕まつり実行委員会の声



東京都在住の方から圏央道を利用して茂原七夕まつりへ行きたいなどの問い合わせをいただくなど、祭りに多方面から来られるようになったと実感しています。

出典：茂原七夕まつり実行委員会へのヒアリング調査(平成25年7月実施)



写真：守谷海水浴場の入込状況(平成25年8月撮影)

海水浴場来場者の声



圏央道が出来て、高速ICから海水浴場へアクセスしやすくなりました。(神奈川県在住)

圏央道が開通したので、これまで利用していなかった九十九里周辺の海水浴場に来てみました。(茨城県在住)

出典：海水浴場ヒアリング調査(平成25年8月実施)

■夏期観光シーズンにおける観光入込状況

(単位：人・地点)

	観光・レクリエーション施設(41施設)				
	H25(A)	H24(B)	H22(C)	対H24年比 (%) (A/B)	対H22年比 (%) (A/C)
ベイエリア・東葛飾地域	566,587	565,697	537,128	0.2	5.5
北総地域	206,216	187,609	201,526	9.9	2.3
九十九里地域	262,391	227,185	243,446	15.5	7.8
南房総地域	578,237	549,688	638,555	5.2	▲9.4

凡例

- 代表的な観光・レクリエーション施設
- 高速道路ICから30分で到着できる圏域(開通前)
- 高速道路ICから30分で到着できる圏域が拡大した範囲

出典：千葉県HP 代表的な観光・レクリエーション施設

注：30分圏域は、平成22年道路交通センサスの旅行速度より算出

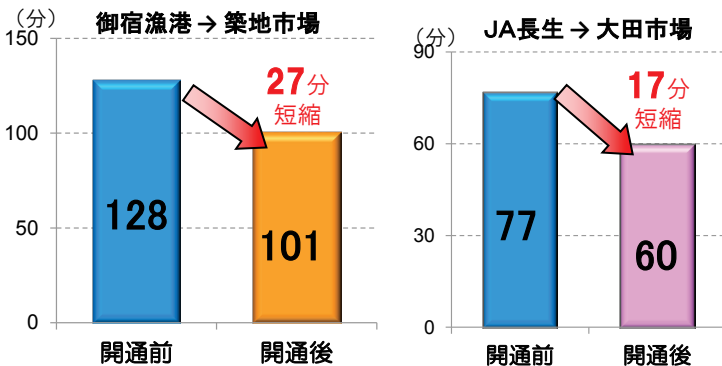
出典：千葉県報道発表資料「夏期観光シーズンにおける観光入込状況について」

農水産業の活性化

圏央道の開通により、房総地域と都心とのアクセス性が大幅に向上し、千葉県内の農水産業の活性化にも寄与しています。

- ・御宿漁港から築地市場の所要時間は、圏央道開通により約27分短縮（128分→101分）しています。
- ・ＪＡ長生から大田市場の所要時間は、圏央道開通により約17分短縮（77分→60分）しています。

■房総地域から東京の市場への出荷例



農業関係者の声



長生地域から大田市場へ輸送するのに高速道路ができ、早く到着することができました。

また、横浜方面へは、これまで東関東道路経由で輸送していましたが、**直接横浜方面の市場へ輸送**できるようになりました。

出典：農業関係者へのヒアリング調査（平成25年8月実施）

水産業関係者の声



御宿から築地市場へ輸送するのに、
高速道路ができたことで所要時間が
30分くらい早く到着できるよう
になりました。

運転手からも楽に輸送ができるよ
うになったと声があがっています。

出典：水産業関係者へのヒアリング調査
(平成25年7月実施)

注：所要時間は、民間プローブデータの平均速度から算出
 開通前：平成24年5月7日～6月30日の平日・7時～19時の平均
 開通後：平成25年5月7日～6月30日の平日・7時～19時の平均

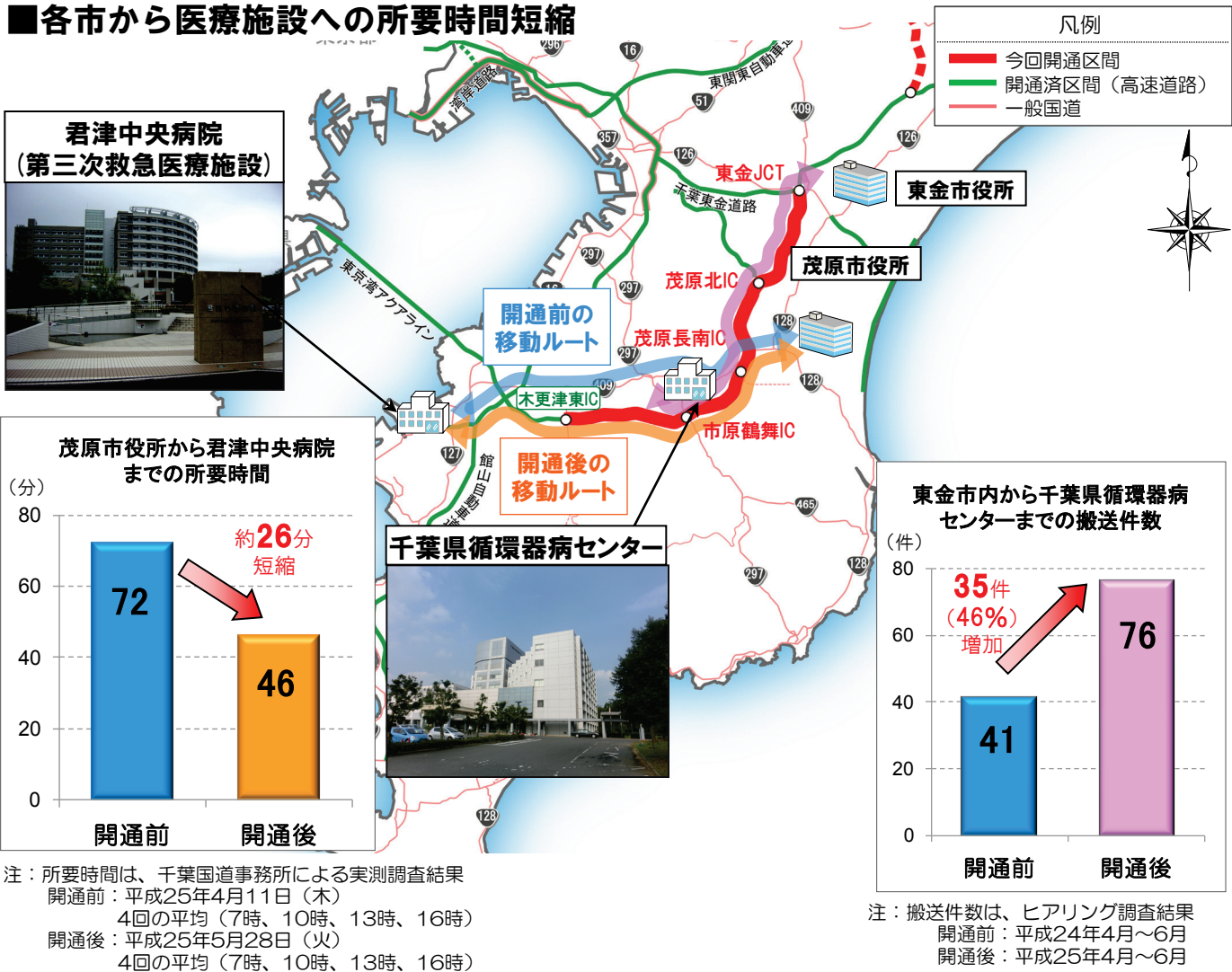
救急医療活動への支援

圏央道の開通により、第三次救急医療施設や専門性の高い病院への所要時間が短縮。

- ・ 圏央道の利用により、茂原市役所から君津中央病院（第三次救急医療施設※）までの所要時間が約26分（72分→46分）短縮、東金市内から千葉県循環器病センターへの搬送件数が35件増加しました。
- ・ また、道路線形の良い、圏央道を搬送ルートとすることで、患者に対する負担軽減にも繋がると実感されています。

※ 第三次救急医療施設：重症及び複数の診療科領域にわたるすべての重篤救急患者に対し、高度な救急医療を総合的に24時間体制で提供できる機能を有する病院

■各市から医療施設への所要時間短縮



消防関係者の声

開通前は、茂原市から君津中央病院へアクセスするには国道409号を使用していましたが、道路線形が悪く、応急処置のしにくさや患者への負担が大きいと、他の病院への搬送もしていました。

圏央道開通後は、圏央道を利用して、**患者さんをより早く病院へ搬送することができるようになりました。**また、**道路線形も良いと、患者さんへの負担も軽減されます。**

出典：消防関係者へのヒアリング調査（平成25年7月実施）



病院関係者の声

当病院では、圏央道の開通により搬送時間の短縮が見込めることから、広域消防本部へ対し救急患者の搬送を増やしていただくよう声をかけました。これまで山武地域から当病院までの**搬送時間が約1時間であったところ、約30分に短縮されました。**

救急患者の疾患状況によっては、**搬送時間の短縮により救命率が向上するため、圏央道開通による効果は大きいもの**と感じております。

出典：病院関係者へのヒアリング調査（平成25年10月実施）

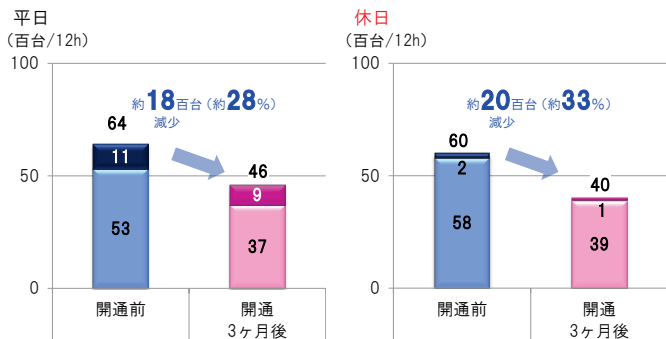
開通区間周辺の交通状況の変化

圏央道と並行する国道の交通量は減少しています。

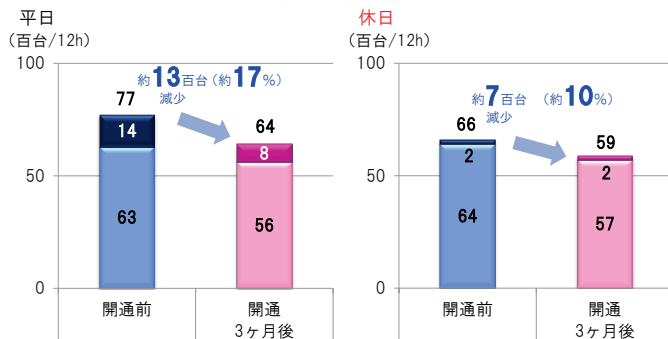
- ・「圏央道と並行する」国道409号の交通量は、開通後に約7～20百台/12h減少しています



高谷交差点



米沢交差点



【調査日】 開 通 前：平成24年11月29日（木）7：00～19：00（平日）
平成24年 8月5日（日）7：00～19：00（休日）
開通3ヶ月後：平成25年 7月17日（水）7：00～19：00（平日）
平成25年 8月4日（日）7：00～19：00（休日）

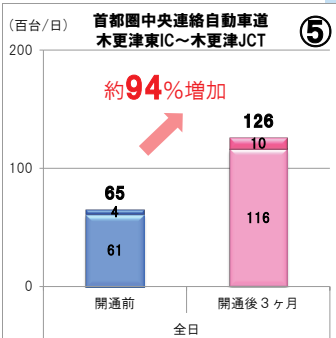
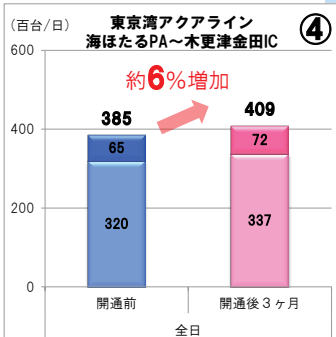
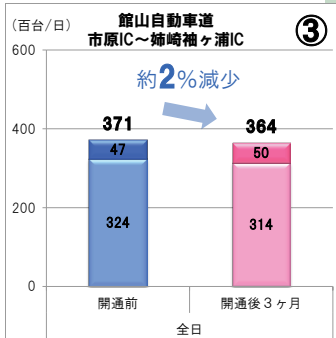
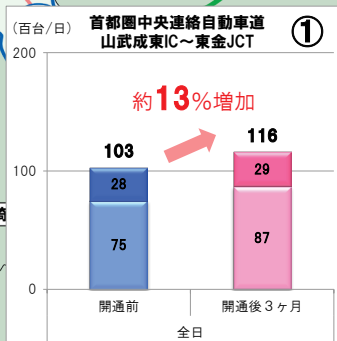
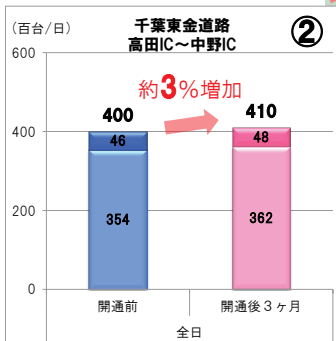
※なお、交通量は百台単位で四捨五入したものである。
※交通量の比較は、開通前と3ヶ月後を比較したものである。

高速道路の交通状況

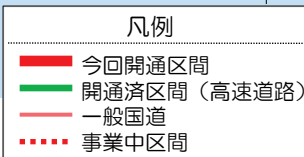
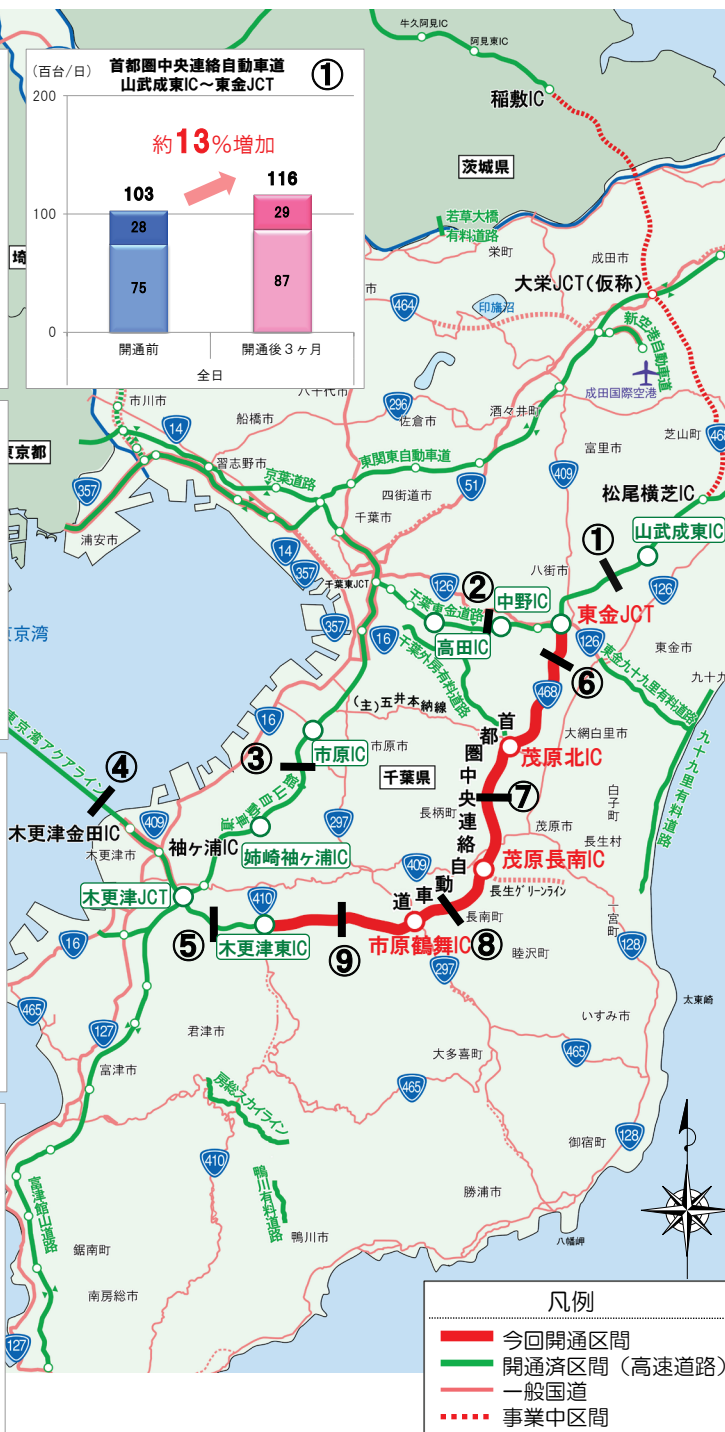
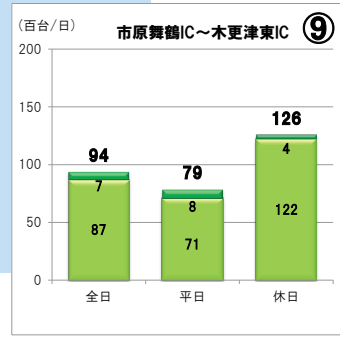
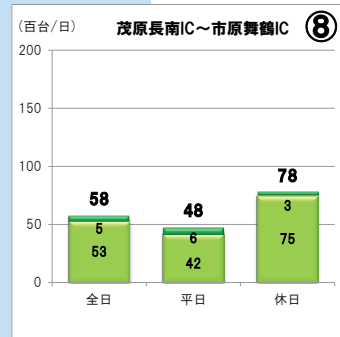
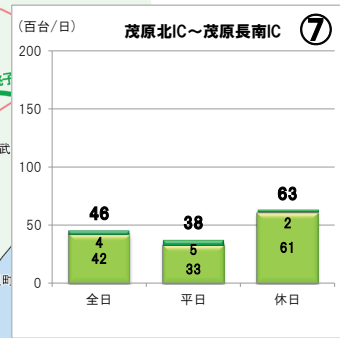
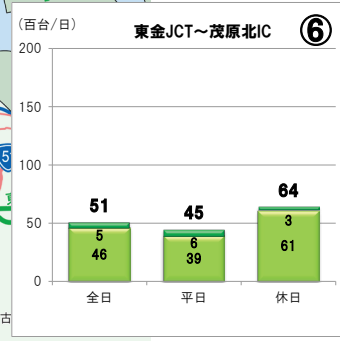
圏央道がつながったことにより、利便性が高まり高速道路の交通量が全体的に増加しました。

- ・圏央道「東金JCT～木更津東IC」の開通後3ヶ月間の1日あたりの平均交通量は、全日で約4,600～9,400台。
- ・開通区間から東京湾アクアラインに連絡する圏央道「木更津東IC～木更津JCT」では、1日あたりの交通量が約2倍に増加しました。

【開通区間周辺の交通状況】



【開通区間の交通状況】



注1：交通量は、開通前：平成24年4月29日（日）～平成24年7月28日（土）の日交通量の平均値
開通後：平成25年4月28日（日）～平成25年7月27日（土）の日交通量の平均値
なお、交通量は百台単位で四捨五入したものである。

注2：交通量はETC車以外も含む全車種合計の本線交通量（トラフィックカウンター
〔道路に備え付けられている交通量（概数）の自動計測装置〕による速報値）

出典：NEXCO東日本データ

お盆期間中の交通量をお知らせします。



●お盆期間中のIC・JCT区間ごとの1日あたりの交通量

日 付	日別交通量※1				備 考	天候※2
	東金JCT ～ 茂原北IC 間	茂原北IC ～ 茂原長南IC 間	茂原長南IC ～ 市原鶴舞IC 間	市原鶴舞IC ～ 木更津東IC 間		
8月10日(土)	6,200台	5,900台	7,600台	12,700台	24時間交通量	晴れ
8月11日(日)	5,800台	5,700台	7,200台	12,400台		晴れ
8月12日(月)	5,800台	5,300台	6,700台	11,700台		晴れ
8月13日(火)	5,800台	5,500台	7,100台	12,100台		曇り
8月14日(水)	6,300台	6,300台	7,900台	13,100台		晴れ
8月15日(木)	6,200台	6,300台	7,900台	13,200台		晴れ
8月16日(金)	5,600台	5,200台	6,800台	12,000台		晴れ
8月17日(土)	5,600台	5,600台	7,200台	12,100台		晴れ
8月18日(日)	5,200台	5,000台	6,500台	11,100台		晴れ

※1：交通量はETC車以外も含む全車種合計の本線交通量(トラフィックカウンター[道路に備え付けられている交通量(概数)の自動計測装置]による速報値)

※2：天候は千葉市の昼の時間帯(6:00～18:00)で最も多かった天候を記載(気象庁ホームページより)

圏央道開通区間概要

●首都圏中央連絡自動車道(圏央道)は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約170kmが開通しています。

●今回開通区間の概要

路線名：国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）

○開通区間：東金JCT（東金市丹尾）^{たんのお}～木更津東IC（木更津市下郡）^{しもごおり}

○開通日時：平成25年4月27日（土） 14時

○延長：42.9km

○車線数：暫定2車線

○開通IC・JCT：東金JCT、茂原北IC、茂原長南IC、市原鶴舞IC、高滝湖PA^{※1}

○アクセス道路：千葉東金道路、国道126号、（主）五井本納線、
国道409号（長生グリーンライ）、国道297号

※1高滝湖PA（内回り）7月12日オープン
（外回り）工事中

■今回開通区間の位置図

